

検証

児童アンケートの結果A+B評価（A評価）



	4月	7月	10月
①学習がよく理解できている	96%(61%)	92%(44%)	92%(61%)
②友達と協力して課題を解決することが楽しい。	85%(45%)	94%(61%)	94%(67%)
③自分たちで学習を進めることができている。	94%(61%)	92%(53%)	94%(67%)
④みんなの前で安心して発表することができる。	82%(52%)	75%(42%)	83%(47%)
⑤友達の発表（話）を聞いて、反応や質問ができる。	85%(27%)	75%(61%)	92%(50%)

友達と協力して課題を解決することを楽しんだり、友達の話すことに対して反応や質問をしたりする意識は高まっている。これは、考動タイムを授業の中で確実に設定し、協働的な学びや児童主体の授業を促してきた成果だと考えられる。一方で、まだ、発表したり話したりすることに対して苦手と感じる児童は一定数いることが分かる。

成果

- ・主体的に学びに向かう児童の姿が多く見られるようになった。
- ・授業の中での児童のアウトプット量が増加した。
- ・児童同士の学び合いの質が向上した。
- ・学習リーダーの育成を通して、間接指導の効率化を図ることができた。
支援が必要な児童や関わり方の課題が見えやすくなった。
- ・単元デザインシートを作成することで、一人一人の児童に身に付けさせたい力を意識して指導や支援を行うことができた。

課題

- ・児童のアウトプット量は増加しているが、まだ表現力が十分ではない児童も見られる。
- ・質の高い学習リーダーの育成。
- ・さらなる教師の「見取り力」や「個別対応力」の向上。
- ・今後も児童数の減少が見込まれる。多様な考えにどのように触れられるようにしていくか。
- ・複式授業特有の教材研究の負担。
- ・安心して話すことができる人に人間関係づくりを継続していく。

第71回 石川県へき地複式教育研究大会 奥能登大会



「全員が」分かる！「全員で」 分かる！授業づくり

～考動タイムの充実・学習リーダーの育成を目指して～

令和7年11月11日（火）
穴水町立向洋小学校

「全員が」分かる！「全員で」分かる！

本校児童の実態

全校児童36名
※令和7年度より完全複式に移行

○素直で真面目 全校の仲がよい
△学習に対して受け身な児童が多い
互いに高め合う意識が低い
人間関係が固定化している



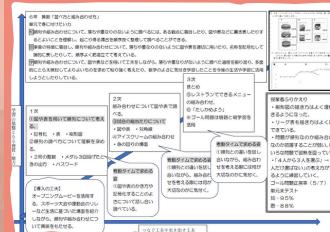
全児童活動の様子

主体的な学び 自己調整力の向上

質の高い学び合いのための手立て

質の高い行動タイムを目指して

単元デザインシート



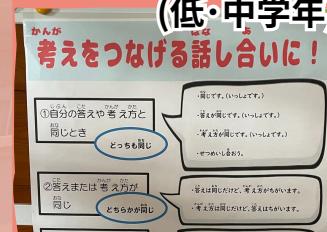
単元デザインを通して児童につけたい資質・能力を明確にする。

既習掲示



視覚的支援。既習を生かすことで、学びの「点」から「線」にする。

話型の活用 (低・中学年)



話し合い活動の質の向上。安心して話すことへつなげる。

相互授業参観



学びのメタ認知を促す。よい学び方をまねしようという意識が生まれる。

学びを支える土台作り

学習を支える人間関係づくり

朝学習でのエンカウンター活動
朝の会でスピーチタイムの実施



エンカウンターやスピーチを通して友達のことをもっと知る！自分のことを知つてもらう！
→安心して話せる雰囲気づくり

エンカウンターの様子

授業力の育成

- ①複式授業についての理解を深める
 - ・指導主事要請訪問（授業の重点・指導案作成）
 - ・専門機関との連携（金沢大学）
 - ・全担任が要請訪問を受ける。
 - ・授業の全体整理会

②単元デザインシートの作成



指導主事要請訪問の様子

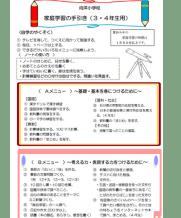
基礎学力向上の取組



朝学習＆昼のスキルタイム



漢字計算コンテスト



家庭学習の手引き

向洋小の「分かる」とは

理解
定着
言語化
応用
まとめ

解き方がわかる！
自分の力で問題が解ける！
説明することができる！
問題が変わってもできる！
まとめを考えられる！

向洋小の「分かる」とはこんなこと！
解き方がわかる！（理解）
自分の力で問題が解ける！
説明することができる！
問題が変わってもできる！
まとめを考えられる！
分かるの共有化

学習リーダー

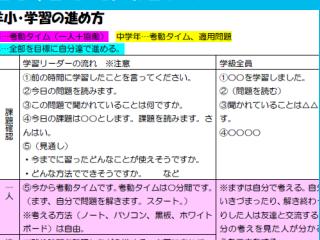
児童主体の授業づくり

教師主導の授業から、児童が自ら考え、仲間と学び合う授業へ。

学習リーダー育成の手立て

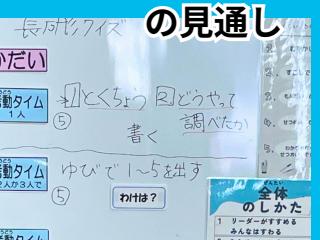
ファシリテーターとなるリーダーを目指して

向洋小授業スタイル



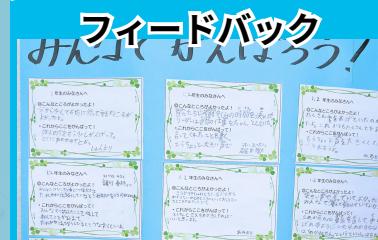
- ①課題設定・見通し
- ②考動タイム
- ③まとめ
- ④適用問題
- ⑤ふりかえり

1時間の授業の見通し



- 1時間の流れをホワイトボードに示すことで見通しをもった学習につながる。時間の使い方を意識する。

児童へのフィードバック



相互授業参観から、今後の課題などを児童同士でアドバイスすることで、自身の学習の仕方を見直す機会ともなる。

学習リーダー



主体的な学びを促す。リーダーシップや協調性の育成にもつながる。